

かみす

Pick up

- ▶2022年度区長を紹介します
- ▶津波ハザードマップの改訂

特集

まちの魅力再発見

波崎海岸砂丘植物公園

人と人をつなぐ植物たち

暖かい日が続き、夏に向けて色鮮やかな植物を楽しめる季節になりました。波崎海岸砂丘植物公園で見ることのできるハマヒルガオやコマツヨイグサ、ハマボウフウなどの海浜植物のほか、公園で進められている再整備について紹介します。

AR 広報かみすが動き出す



[COCOAR]



アプリをダウンロードし表紙にスマートフォンをかざしてください。詳細は12ページ

特集

波崎海岸砂丘植物公園

人と人をつなぐ植物たち

新緑がまぶしい5月は、たくさんの種類の花が咲く時季。神栖市では、まちの中だけでなく海辺でもたくさんの花を見ることが出来ます。今回は、市民ボランティアによる再整備が進む波崎海岸砂丘植物公園を中心に、花のさくまちの魅力に迫ります。

潮風に揺れる海浜植物

四季の変化に富んだ日本では、色とりどりの花や樹木が新しい季節の到来を告げ、私たちの目を楽しませてくれます。

太平洋と利根川に挟まれた神栖市では、温暖な気候のもと約1000種類もの植物が見られます。特徴的なのは、波崎の砂丘地帯でこれまでに約60種類の海浜植物が観察されてきたこと。貴重なものも多く、例えば豊ヶ浜のハマナス自生地は市指定の天然記念物。また、ヌマダイコン

やウラギクが自生するのは県内ではこの地域だけです。

潮風に負けず、砂地から水分や養分を吸収し、過酷な環境で可憐な花を咲かせる海浜植物。その姿を鑑賞できる波崎海岸砂丘植物公園は、1992年に開園しました。日本三大砂



ハマゴウ

丘の一つに数えられる波崎砂丘沿いに広がる、約48000㎡の敷地。そこに10個の人工砂丘が連なり、斜

面に設けられた花壇でハマナス、ハマボウフウ、テリハノイバラ、ハイネズ、ハマヒルガオ、ハマゴウ、ス

ナビキソウ、コウボウムギ、スカシユリなどが潮風に揺れ、花の見頃を迎える5月から8月頃は見事な眺めとなっています。

人工砂丘を花で彩る再整備計画

しかし開園から約30年が経つと、公園内は雑草やごみが目立ち、道路から目が届かない駐車場は防犯上の不安もあり、人々の足はすっかり遠のいてしまいました。そこで昨年からは、神栖市美化運動推進連絡協議会（美推連）と波崎第一中学校が市と連携し、再整備に乗り出しました。

当初は波崎一中の生徒が再整備の構想を練り、それを美推連と共に実現する計画でしたが、新型コロナウイルスの影響でワークショップなどの開催は

見送られました。そのため、感染対策をしながらできる花壇づくりからスタートすることとなり、美推連が植栽計画を立て、波崎一中の生徒と一緒に花を植えました。

昨年5月には、初夏から秋にかけて咲くサルビア、マリーゴールド、百日草、日々草など、10月には秋冬から春にかけて咲くビオラ、パンジー、スイートアリッサム、ノースポールなどを植栽。さらに砂地でもよく育つハーブ類、ハマギクやイソギクなどの海浜植物も植え、公園内の人工砂丘が波崎海岸らしい植物で彩られました。

絶景スポットを目指して試行錯誤

これまで「花のさくまち、きれい

なまち」をテーマに幅広く活動してきた美推連にとっても、砂丘での植栽は試行錯誤の連続だったそうです。美推連会長の才賀秀樹さんは、次のように語ります。



才賀さん(左)と安藤さん(右)

「私たちは一昨年、国営ひたち海浜公園を視察し、海に近いエリアの植栽について学んだことを今回の再整備計画に取り入れました。ネモフィラの栽培にも挑戦しましたが、簡単ではありません。あれだけの絶景をつくるには、水やりや草取りなど大変な労力が注がれていることを実感しました。今回の再整備も花を植えて終わりではなく、その後の長い取り

組みこそが重要です」

ヒマワリの栽培も一筋縄ではいかなかった、と同事務局の安藤和幸さん。「観光客の多い夏に向けて、海と風車とヒマワリが写るインスタ映えスポットをつくらうと考えました。屏風ヶ浦(銚子市)のヒマワリを知っていたので、波崎海岸でもいけると思ったのですが、南からの暖かい潮風(銚子)と北からの冷たい潮風(波崎)では条件がまるで違い、枯れてしまっ。かろうじて潮風に当たらない背の低いヒマワリだけが咲き、感激しましたね」

そのヒマワリから種を取り、それをまいて増やしていく予定とのこと。数年後には、この公園のヒマワリ畑が新名所となっているかもしれません。



①けなげに小さく花開くネモフィラ ②風の影響で傾いて咲くヒマワリ ③風の強さや向きによって形が変わる風紋 ④広大な敷地にはマツなどの樹木も



自分たちの地域がきれいになりますように



50人以上の生徒が参加



昨年5月に植えた花々。初夏から秋まで長く楽しめます



①ウッドチップを敷き詰めた園路



②③海や波をイメージしてリニューアルしたトイレ、案内板

また長末直樹
教頭は、「再整備



辻野校長(左)と長末教頭(右)

昨年11月には、市がリニューアル
工事を進めていた駐車場や水洗トイレ、
ウッドチップを敷き詰めた園路
などが完成。今年には美推連の発足40
周年にあたることから、公園入口の
ロータリーに記念植樹をする計画も
あるそうです。

辻野博勝校長は、ボランティア活
動の意義を次のように語ります。「ボ
ランティアは自ら進んで動くのが
本来の姿。その点、当校の生徒たち
は情報提供さえすれば自分で考え、
協力を惜しまず一生懸命に活動し
てくれます。教室内での授業だけで
なく、自然体験や地域の方とのふ
れあいを通して
視野を広げ、自
分たちの手で地
域をつくってい
くことが重要で
す」

植物が地域の人と夢をつなぐ
活動は、生徒たちの道徳教育や環境
教育、さらにSDGs(持続可能な
開発目標)のために自分たちができ
ることを考えるきっかけにもなりま
す。そういう意識を育てていくため、
今後も美推連の皆さんと協力し、次
につなげていければと思います」と
話してくれました。

「みんなで力
を合わせて何か
をつくる体験は
大切だと思った
ので、テニス部の仲間と一緒に参加
しました。」



生徒会長の藤代さん

中学生ボランティアが活躍
波崎一中から波崎海岸砂丘植物公
園までは徒歩10分。同校は以前から
ボランティア活動が盛んで、生徒た
ちは美推連ともよく一緒に活動して
きました。今回の再整備に参加した
生徒会長の藤代いづみさんに話を聞
きました。

しました。公
園には行った
ことがなかつ
たのですが、
潮風に負けな
いで咲く花が
あることを知
り、植物が自分
に合った環境で生き
ているんだなと感じました。
花を植えるのは想像以上に大変で
したが、きれいな花壇ができてうれ
しいです」



ウチワサボテン

また、公園内にはウチワサボテンがあることから、県の天然記念物に指定されている太田の群生地を表示して、神栖市の新しい観光資源となるような植物観察ルートをつくれなにかと考えているとのこと。ちなみに、太田の群生地は推定100年以上が経つとされ、高さ2mに達するウチワサボテンの大きな葉や鋭いトゲは迫力満点。6月から8月には黄色い花を咲かせます。

「これから地域を担う中学生が主体となって活動し、10年後20年後に自分の子どもを連れて来たいと思える公園となるよう、生徒さんの構想や願いを私たち大人が一つでも実現してあげたいですね。まだ再整備は発展途上ですので、市民の皆さんのご意見も伺いながら良い公園づくりをしていきたいと思えます」と語る才賀さんと安藤さん。

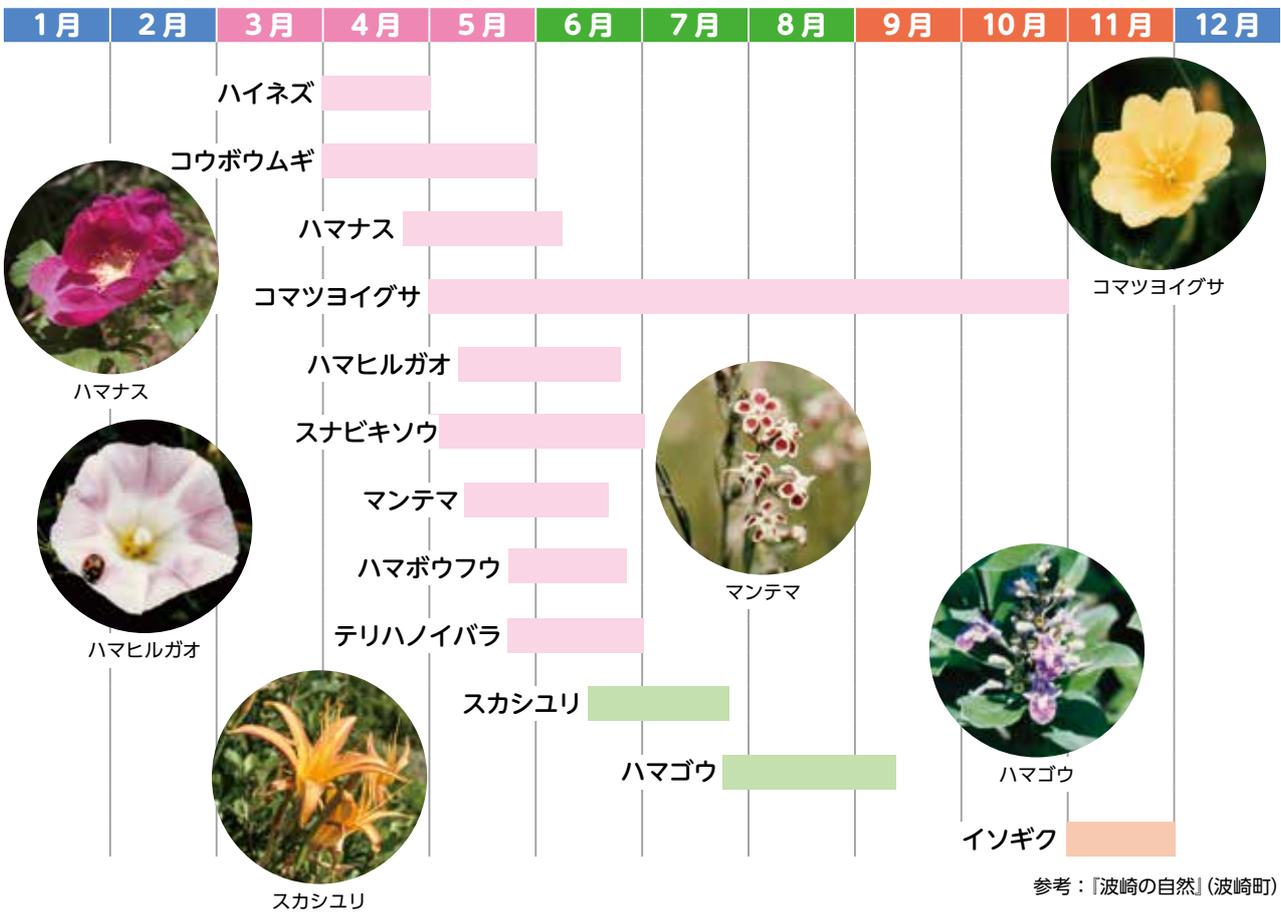
花が咲くのを待つだけでなく、公園づくりのアイデアを考えたり花植えに参加したりすれば、咲かせる喜びも味わえます。風薫る5月、いろいろな楽しみを探しながら花を見に行ってみませんか。

知らない植物を探しに行こう！

2023年度放送予定のNHK連続テレビ小説のモデル、牧野富太郎は、日本の植物学の父といわれ、「雑草」という植物などない。一つ一つの草花はそれぞれに違いがあり、それぞれに精いっぱい生きていく」という言葉を残しています。私たちの周りには、まだまだ知らない植物があるかもしれません。早速、波崎海岸砂丘植物公園へ植物を探しに行きませんか？



海浜植物 見頃カレンダー



参考：『波崎の自然』(波崎町)